

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策1-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	畜産課長 田邊 裕彦	電話番号	0852-22-5132
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	飼料安全対策事業		
目的	(1) 対象	家畜飼料の製造・販売業者及び家畜飼養農家	
	(2) 意図	安全な飼料の製造・販売、使用が行われるようにする。	
事業概要	「飼料安全法」に基づく家畜飼料の規格・基準が遵守されていることを確認するため、家畜の飼料を扱う業者に対して飼料の収去と指導を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	飼料安全法に基づく家畜用飼料不適率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	不適品/収去品×100 (%)	目標値		0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		
			達成率		100.00	100.00			%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
									目標値
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	266	265
うち一般財源 (千円)	133	133

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

飼料販売業者は、約240業者からの届出があり、毎年1割程度の立入検査を実施しているが、「飼料安全法」の知識不足から飼料の保管方法や帳簿の備え付けなどの不備が散見される。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

飼料の製造・販売業者への立入検査により、表示や保管状況等の改善が図られ、飼料の安全性が確保された。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・帳簿の備え付けなどの不備が散見される。

②困っている状況が発生している「原因」

・業者の関係法令に関する知識不足

③原因を解消するための「課題」

・パンフレットや指導により法令順守を徹底する。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

立入検査については、検査機関である隠岐支庁農林局及び各農林振興センターと連携を図り、効果的に実施できるよう努めるとともに、指導事項については改善確認を行う。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--